

第 60 回ドイツ語学文学振興会賞審査結果

第 60 回ドイツ語学文学振興会賞の審査結果をお知らせいたします。

振興会賞

該当なし

振興会奨励賞

高橋 美穂

Temporalität als Ableitung aus einer Räumlichkeit. Eine Fallstudie über die wegbezogene und die temporale Lesart beim Partikelverb *durchfahren*

(Linguisten-Seminar: Forum japanisch-germanistischer Sprachforschung. Band 1)

二藤 拓人

Zäsur im Schreiben. Zur Materialität des handschriftlichen Fragments bei Friedrich Schlegel

(Zäsuren—Welt / Literatur)

選考にあたっては次の方々に審査をお願いしました。

審査者会議議長：寺尾格

審査者：嶋崎啓，高橋慎也，濱田真，浜野明大，矢羽々崇

授賞式は、2020年6月6日（土）、日本独文学会春季研究発表会（東京大学）において行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により研究発表会が中止となったことを受け、授賞式の開催も中止せざるをえない状況となりました。

大変残念ではありますが、受賞者の方々へ心からお祝いを申し上げますとともに、今後の御活躍をお祈りいたします。正賞と副賞は後日受賞者の方々へお送りいたします。

なお、本賞の趣旨は日本国内における若手のドイツ語学文学研究者による優れた業績の発掘にあります。論文応募については自薦・他薦は問うておりませんので、広くみなさまからの御応募をお待ちしております。また、授賞にふさわしい研究が埋もれてしまわぬよう、諸先生方からの積極的な御推挙もお願い申し上げます。第 61 回の応募締切日は 2021 年 1 月 20 日です。応募は随時受け付けておりますので、奮って御応募・御推薦ください。